

平成30年10月 国見町教育委員会 会議録

1、召集日時 平成30年10月24日(水)午前10時

2、召集場所 県北中学校 ICT 教室

3、議席指定 1番委員 石川 博利

2番委員 志村 裕美

3番委員 高橋 幸子

5番委員 岡崎 忠昭

4、議事録書名人 1番委員 石川博利委員 2番委員 志村 裕美委員

5、欠席委員 4番委員 赤坂 正行

6、説明のため出席

教育次長兼学校教育課長 引地 由則

幼児教育課長 中田 利枝

生涯学習課長補佐兼生涯学習係長 半澤 隆一

7、書 記 学校教育課主任主査兼学校教育係長 黒田 典子

8、開 会 午前10時

9、議題の上程

10、協議

国見町総合教育会議における協議事項について

(事務局説明)

学校教育課：教育大綱では今までどおり、教育ビジョンを持って国見の教育大綱とする。緊急事態への対応確認では、いじめ緊急時の対応については重要な事案が発生した際には町からいじめ問題調査委員会の設置等の要請をする。学校教育の充実に関してはICT教育では国見町のICT整備状況等、英語教育については学習指導要領から授業時間の増加、学力調査としてジーテック実施、スカイプを利用した授業の充実化となる。

生涯学習課長：豊かな生涯学習の実現のために施設整備の充実のため老朽化した施設の修繕を社会的要求と調整し、町と方向性を確認しながらの充実を諮っていく。スポーツ事業ではスキーなど子どもが参加できる事業を計画している。後援としても駅伝や野球大会など今後は町民が参加しやすい事業を取り組んでいきたい。芸術文化事業、他に地域学校共同本部事業の学校支援事業では、地域のボランティアの人材育成、国見町文化団体連絡協議会との協力をする。

幼児教育課：切れ目のない支援、保育教育の充実については保健福祉課との連携で妊娠から子育て期における切れ目のない支援ということで国から平成32年度まで世代包括支援センターの設置を要請されている。これは母子保健サービスと子育て支援サービスを一体に提供できるきめ細やかな相談支援を行える施設となっている。町としても保健福祉課にて母子保健サ

ービス、幼児教育課において子育て支援サービスを行っている。今年度においては早急に子育て世代包括支援センターを設置したいが、子育てガイドブックのびのびを中心に今年度改定する予定でいるのでそれに合わせて子育て世代包括支援センターを周知、運営できるようにしたい。また平成27年3月に策定しました子ども子育て支援計画については5年の計画になっている。新たに第二期の支援計画を策定しなければならないので今年度中からアンケートを実施、前は未就学児を対象に保護者へアンケート調査を実施したが子育ては小学校中学校高校と続くので今回は小学五年生までの保護者を対象にアンケート調査をし、見込みを見ていきたい。

1 1、教育長事務報告

岡崎教育長：ジュニア応援団では夏に平泉へ行って10月に岐阜県池田町へ行って来た。和楽器教室では高橋委員お世話になっており、今後も子ども達の活動をこれからも続けていきたい。再来年からのICT教育については教育委員会としてハード面を整備したい。子ども読書推進について、読書フェスタや読書推進運動で活動している。来週の27日毎日新聞で読書の特集では国見小学校の記事が全国版で掲載される。子どもが読書と親しめる環境をこれからもつくりたい。稲刈り、親子体験と言うことで保育所と幼稚園の運動会、小中学校の文化祭、子どもたちが一所懸命活動しており、力がついてきた様子が伺えた。

高橋委員：ジュニア応援団について保護者から前よりも訪問場所が減っているとのことだが本当か。

岡崎教育長：毎年に行く場所を選んでいるので何箇所いくか決めてはいるわけではない。去年は丁度時期がうまくあり北海道のニセコ町、東京フォーラムに参加できたが、その年その年で条件が変わるので今年ではできなかった。前から交流が続いている平泉との交流はこれからも続けたい気持ちである。他の部分については向こうの都合もあり、毎年できるわけでないでその年々に選択している。

1 2、各課からの報告

学校教育課：10月1日教育委員の任命式ということで志村委員が3期目となる教育委員会になった。コミュニティスクール委員松浦幹男さんが亡くなり、後任として木村正義さんに11月5日から委嘱状を交付する。来年度の授業日数の確保について夏季休業等の変更、管理規則の改定を考えるとと思われる。給付型奨学金の清水奨学金を中学生に向けて案内する。11月20日の教育委員会で保育所訪問をするかどうかの調整、第3回桑折町国見町の陸上記録大会では5、6年生が素晴らしい成績だった。中学校の新人戦については女子ソフトテニス優勝、男子卓球シングル、ダブルス優勝との結果となった。11月1日にくにみっ子まつり、11月17日は国見町教育フォーラムが開催される。

幼児教育課：31年度の保育所幼稚園、預かり保育、子どもクラブの募集の周知をしており、11月1日～9日を受付期間としている。9月現在の0歳児は18人になるが3月末までには30人超す予定である。幼稚園児童数は今年度と変わらない予定でいる。第一回国見町子ども子育て推進協議会を開催した。委嘱状を13人に交付し、子育てガイドブックのびのびの改定版について討議、第二次子育て支援事業計画を説明した。ももたん広場での利用状況について9月末で1,671,433人となり団体の利用については宮城県の幼稚園や保育所の利用が多い。子育て支援センター木育ひろばの利用状況については9月末で49,117人となった。10月14日で5万人を達成しセレモニーを開催した。今後のイベントとしては27日～30日までの4日間、ももたんひろばでハロウィンデーの開催をする。11月

17日には道の駅二階研修室にてつながるフェスタ、翌日は子育てということで、ももたんひろば、つながる一むでイベントを開催予定である。

生涯学習課：文化芸術文化事業として9月9日に若い音楽家たちの演奏会を開催され120名の参加、10月6、7日のベーゼンドルファー試弾会は14組の申し込みがあった。体育事業については第53回青少年健全育成剣道大会、第7回復興記念県道交流大会が開催された。上野台運動場では伊達地方スポーツ大会、等がある。子ども達の日本文化体験教室として内谷太々神楽、和楽器教室された。9月8日には福島子ども読書推進フォーラムが開催され160名の参加があった。9月23日の義経まつりでは国見ジュニア応援団交流事業として平泉のジュニア平泉文化歴訪団21名の参加、10月5日～7日の3日間岐阜県池田町と国見町ジュニア応援団の交流活動があった。

13、その他

志村委員：清水奨学金のことで保護者への周知、奨学金を受けたい場合はどこが窓口になるのか。

引地次長：全生徒に申込用紙を配布し学校長の推薦をいただき教育委員会がまとめ、ふくしま未来研究所に提出となる。2月末にそれぞれの保護者の口座に振り込まれる予定になる

志村委員：町民グラウンドの山がなくなっていたがパークゴルフ場になったのか。

半澤補佐：パークゴルフ場になっていない。

岡崎教育長：清水奨学金についてはふくしま未来研究会の規定がありその中での対象生徒に給付となる。

引地次長：11月9日あつかし会に開催されます。

13、閉 会 午前11時10分

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

平成30年10月24日

議事録書名人

1番委員

2番委員

会議書記

学校教育課係長 黒田 典子